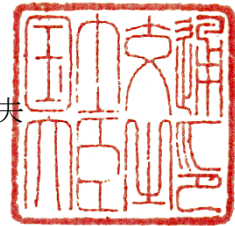


認 定 書

国住参建第 1943 号
令和 6 年 9 月 18 日

日本ヒルティ株式会社
代表取締役社長 堺 直樹 様

国土交通大臣 齊藤 鉄夫



下記の構造方法等については、建築基準法第 68 条の 25 第 1 項（同法第 88 条第 1 項において準用する場合を含む。）の規定に基づき、同法施行令第 129 条の 2 の 4 第 1 項第七号ハ（防火区画貫通部 1 時間遮炎性能）の規定に適合するものであることを認める。

記

1. 認定番号
PS060FL-1294
2. 認定をした構造方法等の名称
ケーブル・電線管／ガラス繊維・アクリル系樹脂混入熱膨張性シート充てん
／床耐火構造／貫通部分
3. 認定をした構造方法等の内容
別添の通り

（注意）この認定書は、大切に保存しておいてください。

(別添)

1. 構造名

ケーブル・電線管／ガラス繊維・アクリル系樹脂混入熱膨張性シート充てん／床耐火構造／貫通部分

2. 寸法及び形状等

(寸法単位：mm)

項目		仕 様
開口部	形状	円形（ ϕ 122 以下）
	面積	0.01168m ² 以下
占積率 (開口面積に対するケーブル断面積の総合計の割合)		開口部に対する占積率：43.6%以下
貫通する床の構造等		(1)～(2)のうち、いずれか一仕様とする (1)鉄筋コンクリート ・厚さ 100 以上 (2)ALC パネル ・厚さ 100以上

3. 材料構成

1) 主構成材料

(寸法単位：mm)

項目		仕様
ケーブル	総有機質量	6.33kg/m 以下
	総導体断面積	1176.0mm ² 以下
	導体（又は芯線）の種類	銅、ガラス繊維、その他これらに類する不燃性の材質
	規格（種類）	・規格 次の規格のうち、いずれか一仕様とする JIS C1502, 1610, 3301, 3306, 3307, 3312, 3315, 3316, 3317, 3323, 3327, 3340, 3342, 3401, 3401 準拠, 3407, 3408, 3503, 3501, 3501 準拠, 3502, 3603, 3605, 3605 準拠, 3606, 3612, 3621, 3662, 3663, 6020, 6021 準拠, 6820, 6850 JCS 第 224 号, 第 271 号 A, 第 364 号 A, 第 376 号 A, 第 381 号, 第 396 号, 第 396 号 A, 第 402 号, 第 416 号, 第 418 号 B, 第 419 号 A, 第 420 号, 第 421 号, 第 422 号, 第 423 号, 第 426 号, 第 427 号, 第 3271 号, 第 3271 号 準拠, 第 3346 号, 第 3368 号, 第 3403 号, 第 3407 号, 第 3410 号, 第 3416 号, 第 3417 号, 第 3501 号, 第 4258 号, 第 4271 号, 第 4316 号, 第 4329 号, 第 4347 号, 第 4348 号, 第 4353 号, 第 4355 号, 第 4364 号, 第 4364 号 準拠, 第 4365 号, 第 4369 号, 第 4370 号, 第 4376 号, 第 4395 号, 第 4396 号, 第 4398 号, 第 4406 号, 第 4418 号, 第 4419 号, 第 4419 号 準拠, 第 4425 号, 第 4426 号, 第 4427 号, 第 4501 号, 第 4502 号, 第 4504 号, 第 4505 号, 第 4506 号, 第 4507 号, 第 4510 号, 第 4511 号, 第 4518 号, 第 4519 号, 第 4520 号, 第 5058 号, 第 5224 号, 第 5287 号, 第 5327 号, 第 5381 号, 第 5382 号, 第 5383 号, 第 5402 号, 第 5412 号, 第 5420 号, 第 5421 号, 第 5422 号, 第 5423 号, 第 5424 号, 第 5429 号, 第 5381 号 準拠, 第 5501 号, 第 5502 号, 第 5503 号, 第 5504 号, 第 5504 号 準拠, 第 5505 号, 第 5506 号, 第 5507 号, 第 9068 号, 第 9070 号, 第 9072 号, 第 9069 号, 第 9071 号, 第 9073 号, 第 9074 号, 第 9075 号, 第 9076 号 JCSC 第 68 号, 第 70 号, 第 71 号, 第 72 号, 第 74 号, 第 75 号, 第 76 号, 第 3502 号, 第 5382 号, 第 9074 号, 第 9075 号, 第 9076 号, 第 3271 号 準拠, 第 9072 号 準拠 LAN ケーブル EIA/TIA 568, EIA/TIA 568A, EIA/TIA 568A 準拠, EIA/TIA 568B, EIA/TIA 568B 準拠, EIA/TIA 568C EIA/TIA IEEE802.3, EIA/TIA IEEE802.3 準拠 ANSI EIA/TIA 568A, ANSI EIA/TIA 568A 準拠, ANSI EIA/TIA 568B, ANSI EIA/TIA 568B 準拠, ANSI EIA/TIA IEEE802.3, IEEE802.3 準拠 高周波同軸ケーブル JAN-C-17, MIL-C-17, DSP-C-3102, 電力規格 D-102, JCAA 準拠 耐火電線・耐熱電線 平成 9 年消防庁告示第 10 号, 第 11 号
	外径	38 以下/本
	導体断面積	325mm ² 以下/本
	本数	総有機量を各ケーブルの有機量で除した数以下かつ総導体断面積を各ケーブルの導体断面積で除した数以下

(寸法単位：mm)

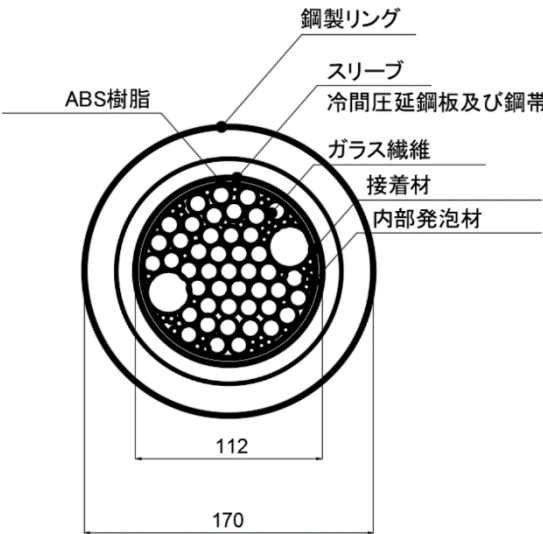
項目		仕様
ケーブル	絶縁体	(1)～(8)のうち、いずれか一仕様とする (1)ポリエチレン系 (2)塩化ビニル系 (3)エチレンプロピレンゴム (4)クロロプレンゴム (5)天然ゴム (6)ポリエステル系 (7)ポリエチレン系 (8)ポリアミド系
	シース	(1)～(5)のうち、いずれか一仕様とする (1)ポリエチレン系 (2)塩化ビニル系 (3)エチレンプロピレンゴム (4)クロロプレンゴム (5)天然ゴム
	介在物	(1)～(5)のうち、いずれか一仕様とする (1)紙 (2)ジュート (3)ポリエチレン系 (4)ポリプロピレン系 (5)なし

(寸法単位：mm)

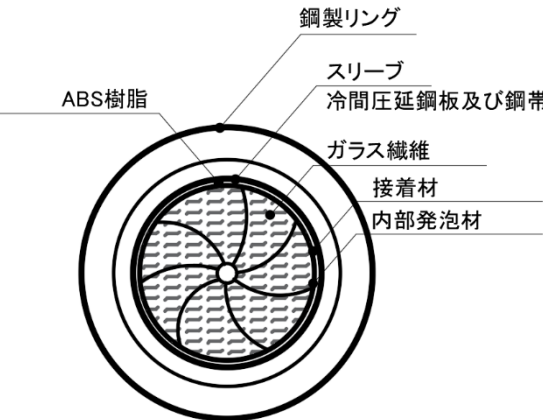
項目	仕 様	
スリーブ	材料	材料に関しては社外秘とさせていただきます。
	径	112.6 $\pm$ 1.1
	内部発泡材の組成(質量%)	組成に関しては社外秘とさせていただきます。
	使用量	貫通部 1箇所あたり 1 個
鋼製リング	材料	冷間圧延鋼板及び鋼帯 ・規格 JIS G 3141 ・材厚 0.6 $\pm$ 0.06 ・径 170
	使用量	スリーブ 1 個あたり各面 1 枚ずつ
ゴムガスケット	材料	エチレンプロピレンゴム ・材厚 1.5 $\pm$ 0.15 (一般部) 4.0 $\pm$ 0.40 (外縁部) ・径 170
	使用量	スリーブ 1 個あたり各面 1 枚ずつ

4. 構造説明図

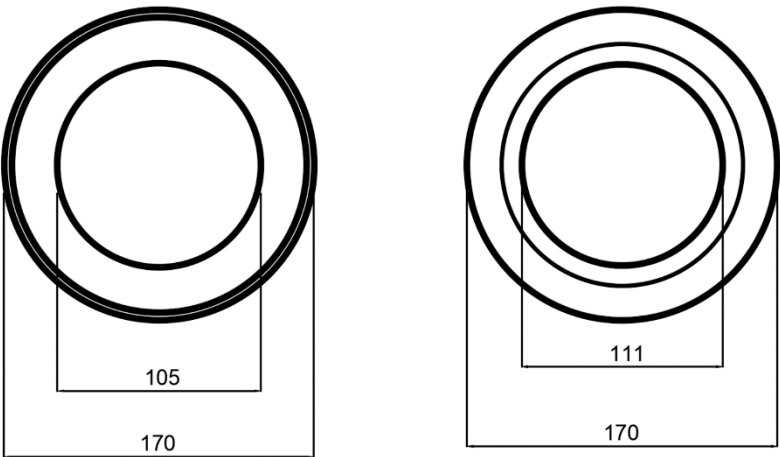
(寸法単位：mm)



正面図 1



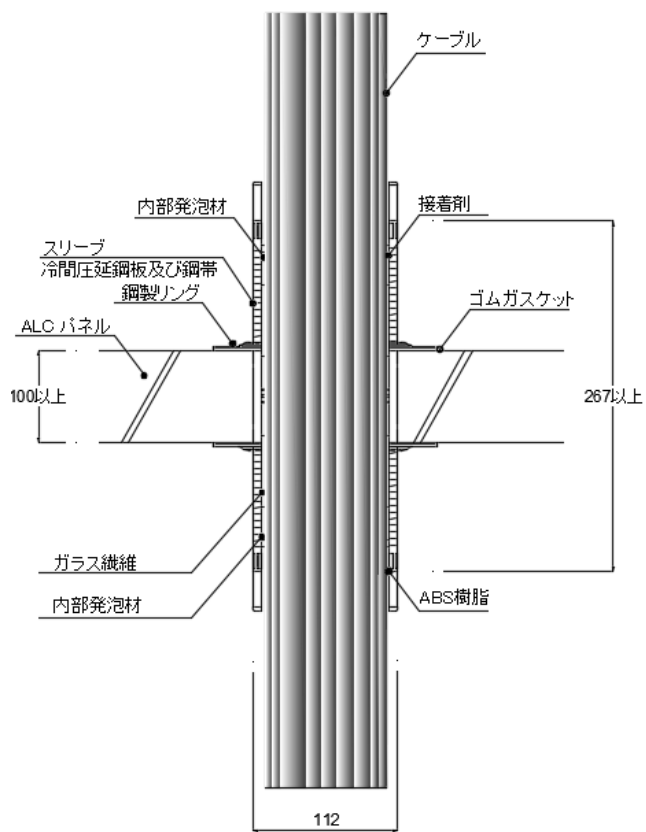
正面図 2



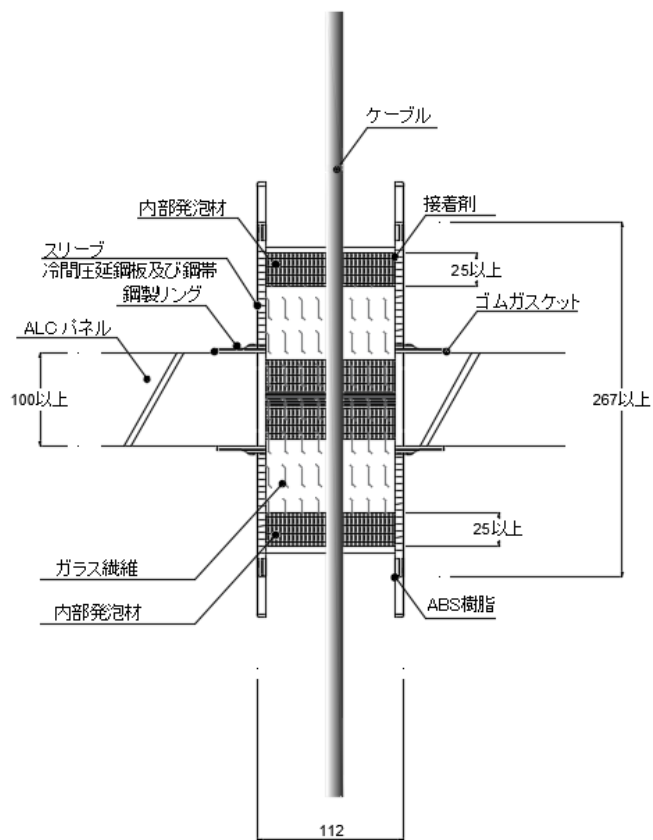
正面図 3

注) 寸法および材料構成は 2 および 3 のとおり

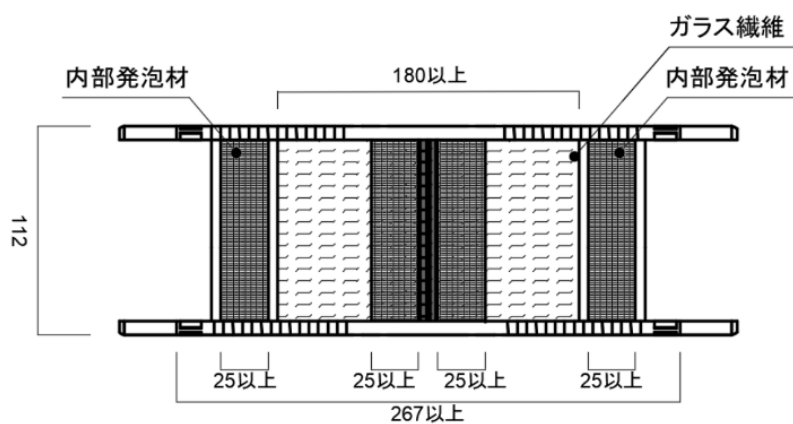
(寸法単位：mm)



断面図 1



断面図 2



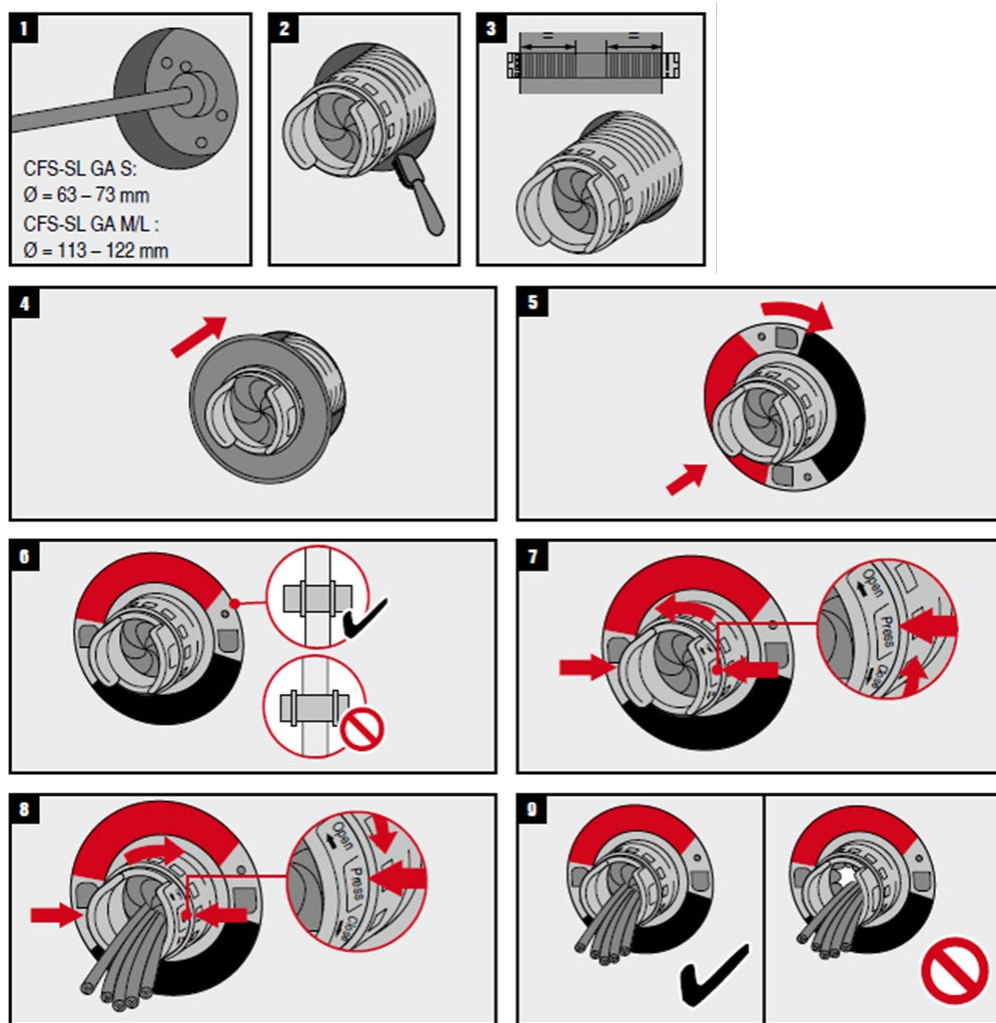
断面図 3

注) 寸法および材料構成は 2 および 3 のとおり

5. 施工方法等

施工手順及び施工図を以下に示す。

1. 床に規定の寸法の孔を穿孔する。
2. 床面の貫通部周りのほこり・ごみ等を除去する。
3. スリーブを貫通部に設置する。
4. ゴムガasketを床の両側から電線管に装着する。
5. 鋼製リングを床の両側から設置し隙間無く適切に締結されていることを確認する。
6. ABS樹脂に設けられたロックを解除しながらガラス繊維の絞り口を開く。
7. ケーブル等をスリーブに通線させ、絞り口を右回転させ隙間が見えなくなるまで閉める。
8. 貫通部が適切に閉鎖されていることを確認する。



※注意事項

本構造に使用されるアクリル系樹脂混入熱膨張性シートについては、耐久性に留意し、所定の防火上の性能が維持されるよう、納品時には仕様寸法の確認を行い、保管時には湿度や直射日光を避けるなど適切に保管する。